

特 報 部

FAX 03 (3595) 6911 Eメール tokuho@chunichi.co.jp

原発の再稼働に必要なストレステスト(安全評価)の報告書を審査する経済産業省原子力安全・保安院の専門家会議で、原子力業界から寄付を受けていた一部委員に批判が集ま

っている。原発に批判的な委員は「利益相反だ」と辞任要求を突きつけているが、保安院は「問題なし」の姿勢を崩さない。

(佐藤圭)

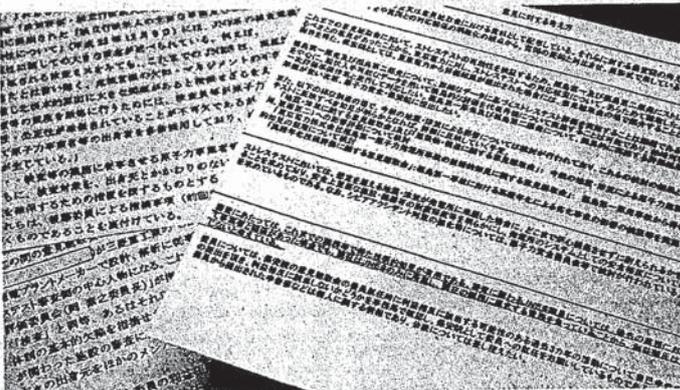
ストレステスト専門家会議紛糾

原発業界から
2委員に寄付

保安院や一部報道によれば、ストレステストを扱う専門家会議のメンバー11人のうち、岡本孝司・東京大教授が原発メーカーの三菱重工から二百万円、山口彰・大阪大大学院教授が三菱重工グループのニュークリア・デベロップメント社から三千二百八十五万円の寄付を受けていた。岡本氏は三菱重工出身で、会議では司会進行役を務めている。

「利益相反だ」
辞任要求出

昨年十二月二十二日の会議で、井野博満東大名誉教授が、山口氏について「報道によれば、ニュークリア社から三千二百八十五万円の研究費を受け取っている。ニューク

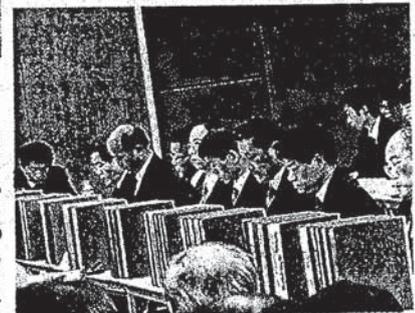


専門家会議の委員の中立性について
ただした質問書と保安院側の回答

「保安院は再稼働ありき」

「保安院は再稼働ありき」
の傲慢なやり方を根本的に変えられるかどうかの重大な局面だ」

「利益相反の事例に該当する可能性があり、委
員にふさわしくない」という趣旨の質問書を保安院側に提出。会議資料として配られたが、保安院は井野氏の了解を得ないまま、企業名や献金額などを「個人情報」との理由で白抜きにした。さらに今月六日の会議では、岡本氏の献金問題が浮上。井野氏と後藤政志芝浦工業大非常勤講師が問題視すると、岡本氏が「民間企業が大学に払い込む」奨学金寄付金だ。大学のルールに基づき、適正に支出している。個人のためには使用しない」と主張した。中立性には影響しないというわけだ。当然、井野、後藤両氏は納得しない。井野氏は「個人の利益にしないのり返す」と突き放す。は当たり前。三菱重工から寄付を受ければ、本氏に取材したところ、(同社と)絆があるという見られても仕方がない。国は「信頼されない」と話した。山口氏は「これは回答を得られなかった。会議を傍聴してきた市民団体「福島原発事故緊急会議」の杉原浩司氏は、市民の立場から岡本、山口両氏への辞任要求を後押ししている。



委員の中立性をめぐり紛糾した専門家会議＝6日、経済産業省本館で

「岡本氏と同じ見解だ。あくまで技術的な観点から意見を言っている」と主張した。中立性には影響しないというわけだ。当然、井野、後藤両氏は納得しない。井野氏は「個人の利益にしないのり返す」と突き放す。は当たり前。三菱重工から寄付を受ければ、本氏に取材したところ、(同社と)絆があるという見られても仕方がない。国は「信頼されない」と話した。山口氏は「これは回答を得られなかった。会議を傍聴してきた市民団体「福島原発事故緊急会議」の杉原浩司氏は、市民の立場から岡本、山口両氏への辞任要求を後押ししている。

「ニュースの追跡」